

第3回定例会

決算審査特別委員会の質疑の主なものを要約し掲載しました。

・決算審査特別委員会質疑の中から



平成21年度の財政運営は、厳しい状況の中、施政方針での重点事業が財政調整基金を取り崩すことなく計画通り実行され、国からの地域活性化交付金を活用し、町民の福祉向上、生活環境の整備がなされ、また交付税等の動向が不透明な中、補助金・交付金等を活用し、必要最小の経費で効率的な財政運営に取組んだと認められます。

決算審査特別委員会質疑の中から

総務費

(質) 職員の時間外手当の支額はいくらか。

(答) 一般会計で1千万円、特別会計で300万円ぐらいである。最高額は、簡水業務だが、大雨等の警報等で深夜や早朝でも緊急出勤しなければならぬ場合があるため。

(質) 地域担当員は、自治会ごとに割り振られているが、自治会も高齢化等で行事等が人手不足な現状だが、職員の積極的な参加はできないものか。

(答) 地域担当員は、緊急時の対応や、要援護者等の支援のほか、自治会からの要請があれば行事等の手伝いも可能と考える。

(質) 網走海区漁業調整委員会委員選挙費は、2年続けて支

出されているが、(答) 前年から選挙準備の支

民生費

(質) 社会復帰訓練施設で遠軽と上湧別トンデンというところが何名通っているのか。

(答) 本町から上湧別に通っている方はいなく、遠軽町には4名が通って作業をしている。法律上は町が就労施設を作るとしているが、小さな町では難しいので遠軽地区3町で運営費を負担している。

消防費

(質) 佐呂間の消防体制は昨年までと同様の15名体制に

なようにはならないのか。(答) 佐呂間は今年職員を13名に減らされ厳しい体制で業務を行っていたが、10月から

教育費

(質) 就学援助の支給対象物は、

(答) 道で定めている基準で支給できる物は、入学準備にかかる物品やスキー等の体育用品や修学旅行の経費等で、本町でもこの基準に準じて支給対象としている。

(質) 入学準備の経費は、通常3月、4月に出費するが、就学援助の6月支給は変更できないのか。

(答) 支給日については、年1回ということではなく、修学旅行の時期や、給食費などは毎月出している。ただ新規の方は、前年所得が確定となる5月以降の支給となる。

(質) 最近学校教員の管理職も単身赴任が多いが、家族も一緒に来て地域と交流して

たいが。(答) 教育委員会としても、その意向は、学校管理職について以前からお願している

第3回定例会

・決算審査特別委員会質疑の中から

ことだが、最近は管理職の奥さんも教員でそちらの学校へ住んでる場合など、単身赴任が増えている状況である。

(質) 温水プールが冬季閉鎖となつて3年目だが、冬季間の運動として、週1、2回でも

業を再開できないか。
(答) 経費的には週1回開けても水を落とすわけにいかず、全部開けても変わらない。

その浮いた経費を別事業に回すことができるし、5年ぐらいはこのまま続け、その後判断したいと考える。

(質) 子どもたちのプール活動も冬季間は途切れるし、またなかなか進まないメタボ検診といわれる中、メタボ解消のためにも、冬季閉鎖の再考を5年たった後と言うのではなく、3年ぐらいで見直して

開けてはどうか。

(答) 開けてほしいという希望があるのもわかるが、冬季間においても武道館のトレーニングルームもあるし、スキーやブルームボールなど北海道の冬のスポーツをやっていたらいい。

(質) 春頃に聞いたとき、21

年度の給食費で支払いが遅れている分があるということだが、その後は。

歳入関係

(質) 固定資産税の滞納の要因

は、また回収の努力は。

(答) 固定資産税の21年度滞納は、69名、1397万円となつている。滞納者については固定資産だけでなく、町道民税、国保税等も滞納しているものも多く、また倒産した会社等や納税義務者が死亡したなどによる滞納もある。

滞納徴収については、日夜面談等の臨戸徴収等も行っているが、滞納者の場合、現年度分も残っており、集金した分は新たな滞納を増やさないよう現年度分にできるだけ入

国民健康保険

(質) 国保会計の不能欠損額、医療機関の不正請求事案と返納金、加算金の収入未済額

とは何か。

(答) 21年度の国保税の不能欠損額は9件238万円。不正請求事案による返納金及び加算金の収入未済額が3件で93万円となつている。内訳は2件が不正請求で不正分の返納と加算金がついている。残り1件は不正請求で加算金はない。

3病院のうち1病院の3万円分は既に廃院となつており回収は難しいが、2病院分は数年後には全額回収できると

介護保険

(質) 年金額18万円の人からも天引きされる介護保険料だが、収入未済額が60万円ぐらゐあるが、件数は。

(答) 滞納となつたうち年金額は8件、ただし特別徴収の件数から引かない、普通徴収の件数は8件、ただし特別徴収の件数も口座振替の申し出から2ヶ月後に引き落とし開始となることなどから、収入未済となる場合もある。

(質) その8件の方たちに納税

相談等の対応は。

(答) 相談については、町道民税、固定資産税、国保税など一般の税金と合わせて、納税相談を徴収対策室でやっている。

ただ、この8名の方は、他の税も滞納しており、収入がないという理由のほか、納税意欲の減退も考えられ、納税意

介護サービス

(質) 今年全国的な戸籍の問題で、介護サービスを受けるべき年齢で受けてない人が戸籍に残っていた問題で、そういう

把握はできているのか。

(答) 本町において、住民票上では102歳が最高年齢で100歳以上は今4名いるが、介護保険や、介護サービスは住民票で拾っているので問題はない。

戸籍上では、最高は132歳で100歳以上は77名。戸籍は住民票と違い持って移動しない人もいるし、戦時中などで死亡届が出ていなく抹消とならない人が戸籍に残って